

別紙 1 安芸高田市葬斎場予約システム機能要件

No.	項目	要求機能
1. 全般		
1	TOPページ	「安芸高田市葬斎場予約システム」と表示されること。
2		お問合せ先で、斎場の詳細情報（斎場名、郵便番号、住所、電話番号）を確認できること。
3		トップページにお知らせ欄を配置すること。
4		お知らせ欄は未ログイン向けに作成できること。
5		誰でもログインなしで火葬の時間枠のすべての予約空き状況やお知らせ等が確認できること。
6	操作環境	パソコン、タブレット、スマホで使用可能であること。
7		WEBページは、利用端末環境によって最適化されるレスポンスWEBデザインであること。
8	システム権限	ブラウザは、現時点のFirefox、Safari、Chrome、MS Edgeが使用できること。
9		次のシステム操作者別に権限を設けること。 ・システム管理者（システム操作のすべての権限を持つ者） ・市職員・施設職員（システムで予約管理、運用を行う者） ・葬祭業者（システムから予約する者）
10		次の火葬種別の予約を行えること。 ・大人（12歳以上） ・小人（12歳未満） ・死産児 ・汚物／手術肢体 ・その他
11		次の時間帯を指定して予約が行えること。 11:30、12:00、12:30、14:30、15:00、15:30 また、上記とは別枠で職員専用の予約枠を3枠設けること。
12		職員専用予約枠は葬祭業者には閲覧、予約登録が共に不可であること。
13		葬祭業者の権限では、大人・小人の火葬種別が選択できること。 また、システム管理者および職員の権限ではすべての火葬種別が選択できること。
14		選択した火葬種別に応じた入力項目が自動で表示されること。
2. 葬祭業者向け機能		
1	ログイン	ログインID＋パスワードを入力することにより、システムのメインメニューにログインできること。
2		任意でパスワード変更ができること。
3		パスワードを忘れた場合、業者IDを入力することで仮パスワードの発行することができること。
4		パスワードは再度設定ができること。
5		環境設定にて2重ログイン不可の設定がある場合は、まだログアウトされていないIDではログインできないこと。
6	空き状況確認	ID/パスワードによる認証を経ずに空き状況を確認できること。
7		7日間の空き状況を一覧で確認できること。
8	予約（全般）	空き状況は、色分け、○×等の記号・数字を用いて、直感的に分かる形態で表示すること。
9		空いている箇所を選択したら、ログイン画面に遷移できること。
10		空き状況画面から日時を選択し、予約登録画面に遷移できること。
11		同一アカウントが同一内容で予約をしようとした際に重複予約としてエラーが出る機能を有すること。
12		選択した日時を予約入力画面に反映させることができること。
13		火葬予約の仮予約時に待合室および式場利用の予約が可能であること。
14		式場利用時には待合室予約ができないように制御すること。
15		仮予約登録時に待合室の利用の有無を選択できること。
16		式場利用は11:30の火葬でのみ予約できるように制御すること。
17		式場利用には「通夜と葬儀」または「葬儀のみ」を選択できること。
18		予約の内容の確認ができるように確認画面を設けること。
19		登録ボタンを押すことで火葬の空き枠チェック、及び必須項目の入力チェックができること。 また、入力チェックでエラーとなった場合は、どの項目でエラーなのかメッセージを表示すること。
20		正常に登録完了となれば、受付番号を発行し画面に表示すること。
21		人体火葬の仮予約時に入力する項目は以下の通りであること。入力項目は必須であること。 火葬日時、住所区分（死亡者の市内・市外）、住所区分（申請者の市内・市外）火葬種別（大人（12歳以上）、小人（12歳未満））、式場利用の有無、待合室使用の有無、死亡者氏名（カナ）、生年月日（不詳が選択できること）死亡日（不詳が選択できること）、死亡時刻（不詳が選択できること）死因（その他・一類感染症等）
22		以下の項目が本予約時に入力できること。なお仮予約時に入力した項目は表示し、変更不可とすること。 死亡者情報（本籍、住所、氏名、生年月日、性別、死亡日時、死因、行政区）、申請者情報（住所、氏名、フリガナ、死亡者との続柄）、棺サイズ、開式、霊柩車使用の有無、待合室使用の有無、施設内案内表示の有無、広報誌掲載の有無、放送の有無、社協問合せ（可・不可）、外部問合せ（可・不可）、宗旨（神式・仏式・キリスト・その他）家族葬（有無）、ベースメーカーの有無、喪主情報（住所、氏名、フリガナ、死亡者との続柄）連絡事項
23		死亡年月日（分晩年月日）の時間表記は、24時間表記にすること。
24		正常に登録完了となれば、受付番号を自動で付番し、画面に表示すること。
25		詳細入力した予約情報が予約一覧から確認できること。
26	生年月日の入力は、西暦、和暦に対応すること。また、新しい元号に変更された際も対応すること。 また不詳の場合は「不詳」を選択できること。	
27	任意・必須項目は導入時に調整できること。	
28	本予約時は入力途中でも一時保存が可能であること。 再入力する場合は、予約一覧等から当該予約情報を選択し、入力再開が可能であること。	
29	死亡者氏名カナを変更できないこと。	
30	登録されている予約情報の内容が表示できること。	
31	ログイン後、「予約一覧」等のボタンを選択することで、予約済み情報の一覧表示が可能であること。 表示される予約情報はログイン者が予約したもののみであること。	

No.	項目	要求機能
32	予約照会	予約一覧は火葬日時順で表示されること。
33		予約一覧には、受付番号・火葬日時・仮予約受付日・死亡者氏名、予約のステータス状況（仮予約済み・本予約済み）が表示されること。
34		受付番号を選択し、詳細表示画面に移行すること。
35		葬祭業者からの本予約受付は火葬日前日の16時まで可能であること。
36		予約内容はリアルタイムで反映され、即時に参照できること。

No.	項目	要求機能
3. システム管理者／市職員・施設職員向け機能		
1	基本機能	トップページにお知らせ欄を配置すること。
2		お知らせ欄は未ログイン向けに作成できること。
3		お知らせ内容の表示期間は日単位で開始日と終了日を指定できること。
4		メインメニューには、葬祭業者マスタメンテナンス、予約データCSV出力、予約状況照会、環境設定、カレンダー設定等の業務名を分かりやすく表示し、1つを選択して実行できること。
5		生年月日の入力、西暦、和暦に対応すること。また、新しい元号に変更された際も対応すること。
6	業者登録	葬祭業者の登録・変更・削除ができること。
7	ログイン	ログインID＋パスワードは、システム管理者、市職員・施設職員ごとに設定できること。ログインIDごとにシステム権限を設定できること。システム権限ごとに実施可能な業務（機能）を設定できること。
8		ログイン後、権限が付与された職員及びシステム管理者はマスタ設定等の管理機能を利用できること。
9		ID/パスワードの有効期限を設定できること。
10		環境設定にて2重ログイン不可の設定がある場合は、まだログアウトされていないIDではログインできないこと。
11	空き状況確認	ID/パスワードによる認証を経ずに空き状況を確認できること。
12		7日間の空き状況を一覧で確認できること。
13		空き状況は、色分け、○×等の記号・数字を用いて、直感的に分かる形態で表示すること。
14	予約	職員が業者の代行として予約登録が行えること。また、代行予約した予約は、業者でログインした場合の予約一覧にも表示されること。
15		市職員・施設職員及びシステム管理者は全ての予約情報を閲覧、編集できること。
16		利用制限が設定されている葬祭業者には、新規の予約入力を受付ない等、制御できること。
17		死亡者氏名カナが変更できること。
18		同一業者、同一死亡者氏名で複数の予約を行えないこと。
19		葬祭業者には表示されず、職員のみ予約操作が可能な火葬枠を3枠設けることが可能であること。
20		本予約時は入力途中でも一時保存が可能であること。 再入力する場合は、予約一覧等から当該予約情報を選択し、入力再開が可能であること。
21		死産時の予約は下記の情報が登録できること。 住所区分（市内・市外）死産児情報（父母の住所、父母の氏名、妊娠週数）
22		汚物／手術肢体の予約は下記の情報が登録できること。 住所区分（市内・市外）件数、当該者情報（住所、氏名、生年月日、本籍）申請者情報（住所、氏名、生年月日、電話番号、続柄）
23		その他の予約は下記の情報が登録できること。 住所区分（市内・市外）申請者情報（住所、氏名、生年月日、電話番号）連絡事項
24		本予約時は入力途中でも一時保存が可能であること。 再入力する場合は、予約一覧等から当該予約情報を選択し、入力再開が可能であること。
25		当日の予約処理が可能であること。
26	予約照会	次の検索項目で、予約情報が検索できること。 ・火葬期間 ・受付番号 ・死亡者氏名 ・申請者氏名
27	予約の修正・取消	葬祭業者が予約等の登録・修正・取消が完了したときには、システム管理者・市職員・施設職員の負担なく自動で予約番号を付与できること。
28		既に登録済みの予約情報について、制限を受けることなく修正・取消できること。
29		予約の登録・修正・取消が確定した時点で、事前に登録されている葬祭業者のメールアドレスへ予約確定の通知を自動送付できること。通知の内容には、予約番号、予約種類（登録／修正／取消）等を記載すること。
30		予約情報の修正・取消について、一定期間履歴を残すこと
31	葬祭業者登録・管理	葬祭業者情報（葬祭業者名、担当者名、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所等）を登録し、管理できること。
32		葬祭業者の登録情報を修正することができること。
33		葬祭業者の情報（一覧・詳細）画面が表示できること。
34		葬祭業者に対して、メールによるシステム登録の承認通知できること。
35		複数回キャンセルを繰り返したり、存在しない死亡者の予約をする等の違反をした葬祭業者に対して、利用制限（予約受付やWeb受付を拒絶する等のペナルティ）を設定できること。
36		変更やキャンセル回数を業者毎に確認できること。
37	メール機能	下記の手続き完了時、メール通知が行われること。 ・仮予約 ・本予約 ・予約変更 ・予約キャンセル ・パスワード通知
38		葬祭業者に一括メールが配信できること。
39	お知らせ機能	お知らせ設定画面を設け、職員で都度お知らせ内容の新規登録・編集・削除ができること。
40		お知らせ内容は表示する期間をあらかじめ指定できること。
41		お知らせ内容の表示対象を、下記の通り絞り込めること。 ・葬祭業者 ・市職員・施設職員およびシステム管理者
42		葬祭業者用の操作マニュアルや施設案内等のPDFをダウンロードできること。
43	C S V出力	予約データをC S V形式ファイルにて出力できること。また、出力の期間を任意に指定できること。
44	運用設定	カレンダーのイメージを利用して、休日、火葬炉のメンテナンス日等を見やすく、分かりやすい形式で設定できること。
45		指定日付の休場日設定（開場日・休場日）ができること。
46		火葬炉の点検・修理や斎場等の修繕による運休に対応するため、予約の可否を設定できること。
4. 管理機能		
1	マスタ管理	システム管理者の権限により、葬祭業者のマスタメンテナンスができること。
2		権限ごとに、運用設定、職員登録、環境設定の可否を設定できること。
3		休日等による予約制限が、火葬受け入れ時間ごとに設定できること。
4		炉の修繕等による予約制限が、火葬受け入れ時間ごとに設定できること。